

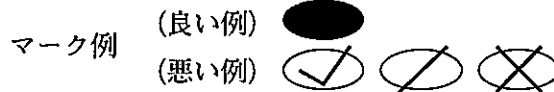
令和5年度（令和4年度実施）  
高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
家庭

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

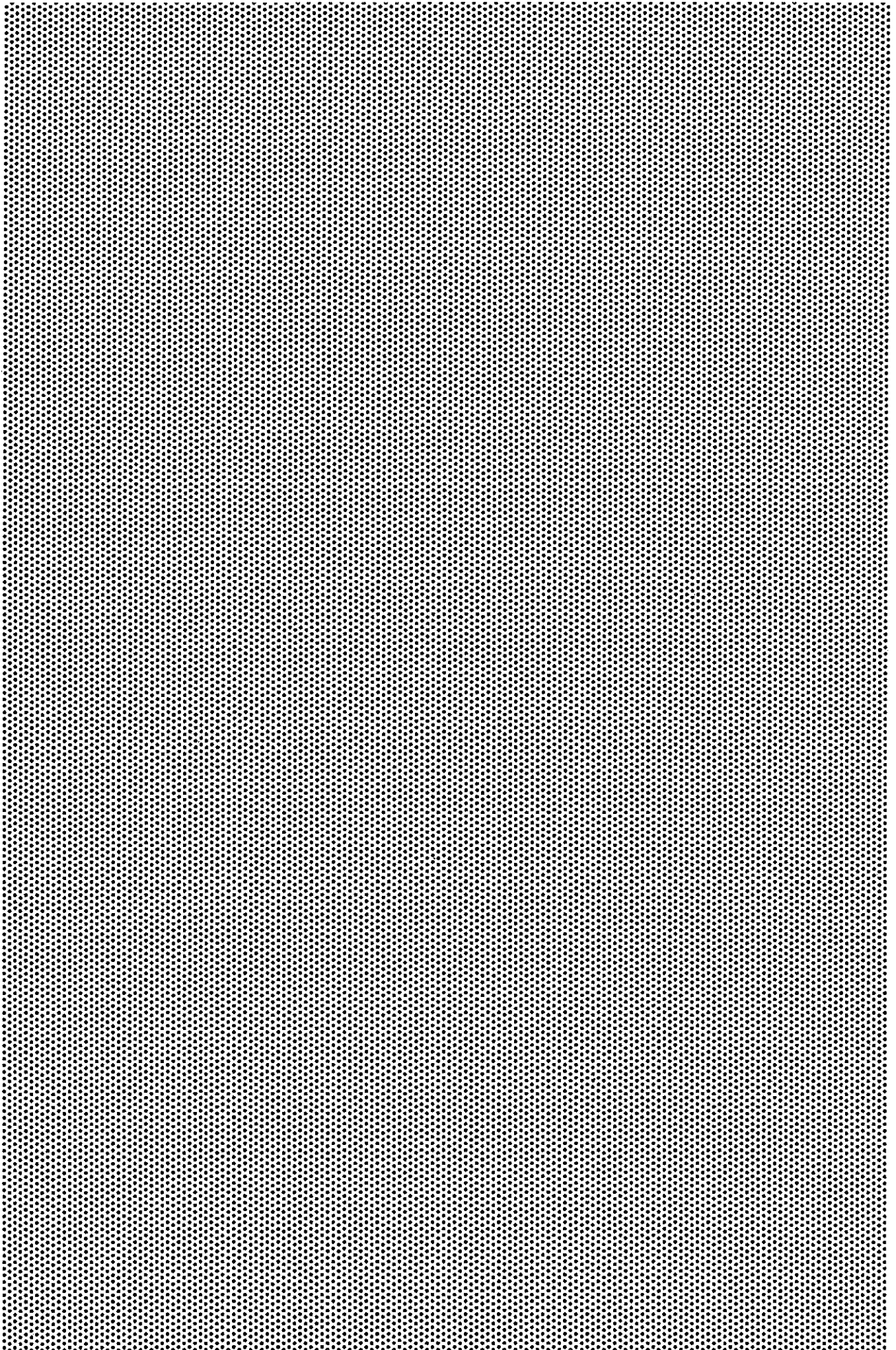
記入例

（受審番号12345の場合）

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
  - 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。  
（例）  

ア	a	●	c	d	e	○	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	○	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
- なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



## 【共通問題】

第1問 家族・家庭生活，保育，高齢者・共生に関する各問いに答えなさい。

1 家族・家庭生活に関する(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 無戸籍児の現状と課題として適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a 日本国籍を有することで社会生活上の不利益を被ることはない。
- b 住民基本台帳に記載されていない者であっても，当該市町村に学齢期の児童生徒が居住していれば，学齢簿を編製し，就学の通知等の手続をとることができる。
- c 法務省の無戸籍者の調査結果（平成30年5月10日現在）で明らかになった190名の学齢期の児童生徒については全て就学が確認され，教育上・生活上の課題は無かった。
- d 特別な事情の有無にかかわらず，旅券の発給を申請することができる。
- e 住民基本台帳に記載されていない学齢児童生徒に関する情報について，義務教育諸学校の設置者は，取得することができない。

(2) パタニティハラスメント（パタハラ）の説明として適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。  イ

- a 職場において行われる，優越的な関係を背景とした言動で，業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより，労働者の就業環境が害されること。
- b 職場において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと，育児休業の利用に関する言動）により，妊娠・出産した女性労働者の就業環境が害されること。
- c 職場において行われる，労働者の意に反する性的な言動に対する労働者の対応により，その労働者が労働条件について不利益を受けたり，性的な言動により就業環境が害されること。
- d 職場において行われる上司・同僚からの言動（育児休業の利用に関する言動）により，育児休業を申出・取得した男性労働者の就業環境が害されること。
- e 職場において行われる上司・同僚からの言動（介護休業の利用に関する言動）により，介護休業を申出・取得した男女労働者の就業環境が害されること。

(3) 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度で認証される企業が取り組んでいることについて適切でないものを，次のa～eから一つ選びなさい。  ウ

- a 介護支援
- b 年次有給休暇の取得促進
- c 女性の活躍推進
- d 従業員の健康づくり
- e 高齢者の就業機会提供

## 2 保育に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 母乳の特長として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 乳汁の成分は離乳の時期まで一定に保たれる。
- b 栄養価の高いたんぱく質や感染の抵抗力となる免疫物質が含まれている。
- c 新生児期に不足しがちなビタミンKが、乳児用調整粉乳に比べて多く含まれている。
- d 母乳に含まれる乳汁分泌ホルモンであるプロラクチンが、子宮筋を収縮させ、子宮をもとの状態にもどす働きをする。
- e 母乳を与えることにより母親の排卵が誘発され、すぐまた妊娠する可能性が高まる。

(2) 安全面に配慮された玩具に付ける「品質に関する表示マーク」として適切なものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。 

a



b



c



d

(3) 次の条文が示されている法律の名称として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 

(目的)

第一条 この法律は、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、全ての子どもが心身ともに健やかに育成され、及びその教育の機会均等が保障され、子ども一人一人が夢や希望を持つことができるようにするため、子どもの貧困の解消に向けて、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

- a 児童福祉法
- b 児童虐待の防止等に関する法律
- c 子どもの貧困対策の推進に関する法律
- d 子ども・子育て支援法
- e 母子保健法

3 高齢者・共生に関する (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の図は「高齢者のいる世帯数と構成割合の推移」を示したものである。図中の①に該当するものを、下の a～e から一つ選びなさい。

(厚生労働省「2018年 国民生活基礎調査」ほか)

- a 単独世帯
- b 三世代世帯
- c 夫婦のみの世帯
- d 親と未婚の子のみの世帯
- e その他の世帯

(2) 次の図は4か国の「高齢者の医療サービス利用状況」を示したものである。日本の結果を示しているものを、下のa～dから一つ選びなさい。

※4か国は、日本、スウェーデン、ドイツ、アメリカである。

(内閣府「2015年度 第8回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」)

(3) ヘルプマークの説明として適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。



- a 高齢者が安心して健康に暮らすことができる良質なサービスや商品を提供する事業者に対して交付される。
- b 世界共通のシンボルマークで、障害者が利用できる建築物や施設であることを明確に示す。
- c 耳の不自由な人であることを表すマークで、コミュニケーションをサポートするために作成された。
- d 義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人が周囲の人に配慮を必要としていることを知らせる。
- e 肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示する。

第2問 衣生活, 食生活, 住生活に関する各問いに答えなさい。

1 衣生活に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の表は, 化学繊維の原料と特徴を示したものである。レーヨンに該当する組み合わせとして適切なものを, 次のa～eから一つ選びなさい。

	原料	特徴
a	おもに石油	羊毛のような肌触りで保温性がある。静電気を帯びやすい。
b	木材パルプなど	水や湿気をよく吸うが, ぬれると縮みやすい。しわになりやすい。
c	おもに石油	ゴムのような伸縮性がある。塩素漂白剤で黄変する。
d	木材パルプなど	絹のような光沢があり, 乾きやすい。アルカリや摩擦に弱い。
e	おもに石油	引っ張りや摩擦に強く, 乾きやすい。しわになりにくい。

(2) 次の洗濯に係る取扱い絵表示 (JIS L0001) のうち, 漂白のしかたを示す表示を, 次のa～eから一つ選びなさい。



(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを, 下のa～eから一つ選びなさい。

衣類などのほつれをつくろうために, 刺繍糸などを用いてかがる方法で, 縦糸と横糸が交互に並ぶように仕上げ, ほつれた面を補修する方法。

- a つぎあて
- b かけつぎ
- c ダーニング
- d アップリケ
- e かがり縫い

- (4) 伝統的な織物・染め物の名称とその説明の組み合わせとして適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

	名称	説明
a	琉球紅型	多彩で華麗な型染の染め物で、王家や身分の高い士族の衣服のみに使われた。
b	阿波しじら織	オヒヨウ（ニレ科）などの樹皮の繊維から作った糸で織られた布で、江戸時代の文書や絵に描かれている。
c	京友禅	木綿の織物で、手括りや織り締めによって防染した糸を天然藍で染め、手織りする手法は、国の重要無形文化財に指定されている。
d	アットウシ	糸目糊を用いて防染して模様を描き染める。手描きと型紙を使う技法がある。扇に絵を描く絵師が始めたといわれる。
e	久留米紼	シボがあり、さらりとした肌触りと藍染が特徴の夏用の着尺地。最盛期には二百万反も織られていたが、現在の生産は少量になっている。



## 2 食生活に関する (1) ~ (6) の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、脂質の種類と働きを述べたものである。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

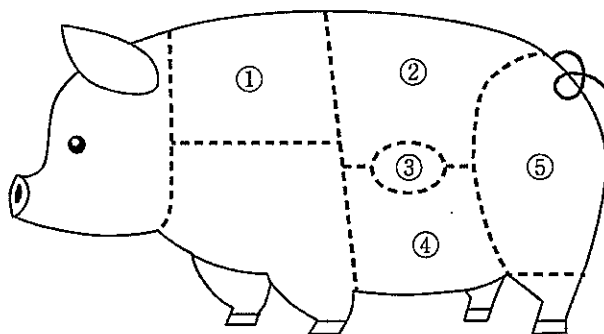
オ
---

食品中の脂質の大部分は中性脂肪であり、中性脂肪はグリセリンに3つの脂肪酸が結合してできている。脂肪酸は飽和脂肪酸と ( ① ) に大別される。食物から摂取する必要のあるいくつかの脂肪酸を ( ② ) という。( ③ ) は細胞膜の成分として、また、性ホルモンや胆汁酸の成分として大切な役割を果たしている。

	①	②	③
a	必須脂肪酸	不飽和脂肪酸	コレステロール
b	必須脂肪酸	コレステロール	不飽和脂肪酸
c	コレステロール	必須脂肪酸	不飽和脂肪酸
d	不飽和脂肪酸	コレステロール	必須脂肪酸
e	不飽和脂肪酸	必須脂肪酸	コレステロール

- (2) 豚肉の部位の名称、該当する部位、適する調理名の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

カ
---



	名称	部位	適する調理名
a	かたろース	①	ソテー、ハム、ベーコン
b	ばら	③	ベーコン、焼き豚、角煮
c	ヒレ	④	ステーキ、ソテー、カツレツ
d	もも	②	ハム、カツレツ、煮物
e	ろース	⑤	カツレツ、ソテー、しょうが焼き

- (3) ポテトチップス1袋のおよそのエネルギー量（熱量）として適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

ポテトチップス	
栄養成分表示（1袋60gあたり）	
熱量	<input type="text" value="キ"/> kcal
たんぱく質	3.1g
脂質	21.6g
炭水化物	32.3g
食塩相当量	0.5g

- a 228  
b 336  
c 351.5  
d 497.5  
e 513

- (4) 食品保存の原理と食品例の組み合わせとして適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

	原理	食品例
a	乾燥させる	ジャム，梅干し
b	塩や砂糖を利用する	乾めん，乾しいたけ
c	微生物を利用する	缶詰，びん詰，レトルト食品
d	くん製にする	ソーセージ，ハム
e	密封し，加熱する	みそ，酢，しょうゆ

- (5) 懐石料理の献立に関する名称と説明の組み合わせとして適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

	名称	説明
a	八寸	基本的な一汁三菜などの献立のあと，次の料理に移る前に出される吸い物のこと。
b	箸洗	漬け物のこと。
c	強肴	基本の献立の他に加えられる料理。
d	向付	約24cm角の器に2～3種の料理を盛ったもの。
e	香の物	一汁三菜の1つで，昆布じめの刺身などが用いられる。

(6) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

コ

輸入した食料を自国で生産すると仮定した場合に、どの程度の水が必要になるかを推定したもの。

- a フードバンク
- b フード・マイレージ
- c ライフサイクルアセスメント
- d バーチャルウォーター
- e カーボンフットプリント

3 住生活に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

- (1) 次の住生活基本法の条文について ( ① ) に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

(目的)

第一条 この法律は、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策について、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体並びに住宅関連事業者の責務を明らかにするとともに、基本理念の実現を図るための基本的施策、( ① ) その他の基本となる事項を定めることにより、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民生活の安定向上と社会福祉の増進を図るとともに、国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

- a 住宅の流通の円滑化
- b 住生活基本計画
- c 地域における居住環境の維持及び向上
- d 住宅の供給
- e 居住環境の形成

- (2) 住宅の通気性と結露対策の説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 結露を防ぐために、洗濯物を部屋干しにする。
- b 結露の発生やダニの繁殖をおさえるために、住まいの気密性を高めて通風を控える。
- c 室内外の温度差をなくすため、窓やすき間からの機械換気と換気扇などの自然換気を利用する。
- d 家具の周りにすき間を作ったり、押入れにすのこをしいたりすることで、風通しをよくする。
- e 梅雨など湿度が高い時は、外気を入れて室内の湿度を下げる。

- (3) 書院造の要素を受け継ぐ床の間のある座敷に設置されているもので、採光、通風、装飾の目的を果たすものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- (4) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に表したもの。

- a トレーサビリティ
- b レインフォレスト・アライアンス
- c 防災ラベル
- d フェアトレード
- e ハザードマップ

第3問 家庭経済、消費生活・環境に関する各問いに答えなさい。

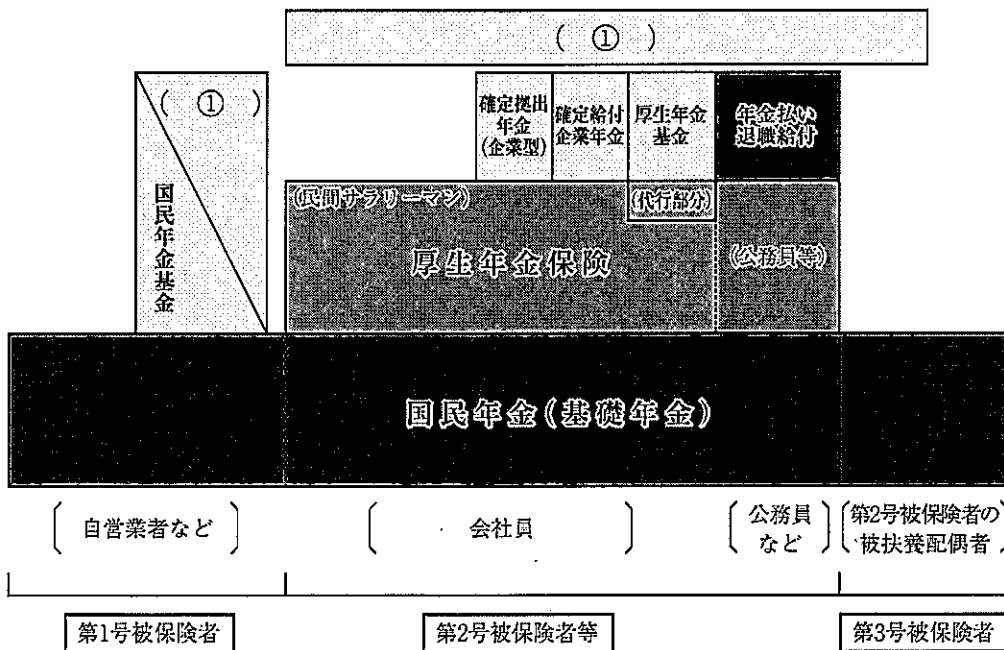
1 家庭経済に関する(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 家計の支出項目のうち非消費支出に該当するものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 食料費
- b 保健医療費
- c 住居費
- d 社会保険料
- e 光熱・水道費

(2) 次の年金制度の体系図(厚生労働省)について(①)に該当する語句として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

※(①)の2か所とも同じ語句が入る。



- a iDeCo (個人型確定拠出年金)
- b NISA (少額投資非課税制度)
- c つみたてNISA (非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度)
- d ジュニアNISA (未成年者少額投資非課税制度)

(3) 利息制限法では、金銭を目的とする消費貸借における利息の契約について、元本の額が10万円未満のとき、年の上限利息はいくらに定められているか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 一割三分
- b 一割五分
- c 一割八分
- d 二割
- e 二割三分

(4) 円高・円安と輸出入の関係の説明として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 円安になると円の価値が下がるため、海外のものを安く買うことができる。
- b 円安になると円の価値が上がるため、輸出が得になる。
- c 円高になると円の価値が上がるため、海外のものを安く買うことができる。
- d 円高になると円の価値が上がるため、輸出が得になる。
- e 円高になると円の価値が下がるため、海外のものを安く買うことができる。

(5) 次の説明に該当する語句として適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

気候変動などを念頭においた長期的なリスクマネジメント等、従来の財務情報だけでなく、環境、社会、ガバナンスの要素も考慮した投資のことを指す。

- a ESD
- b ESG投資
- c 投資信託
- d CSR
- e 公社債

## 2 消費生活・環境に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、消費者庁の「デジタル消費生活へのスタートライン 消費生活のデジタル化に伴って生じるトラブル事例集」の一部である。( ① )・( ② )に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

カ
---

私たちには、社会のデジタル化による利便性とリスクを理解し、消費生活の変化への対応が求められています。

デジタル取引で損なわれがちな「安全である権利」、「知らされる権利」、「選ぶ権利」を守るためには、「( ① )を受ける権利」を実現させることが何よりも大切です。

権利を守ることに加え、「( ② )の責任」、「自己主張と行動の責任」、「社会的責任」など、デジタルの特徴をいかした責任ある消費の実践に、少しでも貢献できることを願っております。

	①	②
a	補償	批判的意識
b	補償	社会的弱者への配慮
c	補償	環境への配慮
d	消費者教育	社会的弱者への配慮
e	消費者教育	批判的意識



(2) 日本の衣服の循環について ( ① ) に該当する語句として適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

(環境省「サステナブルファッション」より)

- a リデュース
- b リペア
- c リフューズ
- d リサイクル

- (3) 次の説明に該当する語句として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

ク

空き駐車場等使っていないものを一時的に貸す、家事やペットの世話等の仕事を個人的に直接依頼する等、個人が保有する遊休資産（スキル等の無形のものも含む）の貸出しを仲介するサービスで、貸主は遊休資産の活用による収入、借主は所有することなく利用できるメリットがある。貸し借りが成立するためには信頼関係の担保が必要であるが、そのためにソーシャルメディアの特性である情報交換に基づく緩やかなコミュニティの機能を活用することができる。

- a シェアリング・エコノミー
- b エコアクション21
- c エコタウン事業
- d エコロジカル・ネットワーク
- e ゼロエミ・チャレンジ

- (4) 脱炭素社会の実現に向けた生活行動として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。 ケ

- a 個人のESG投資はしないようにする。
- b バイオマス由来プラスチックを使った商品を使わないようにする。
- c 職住近接やテレワーク等、働き方を工夫する。
- d 生活の中で木を使わないようにする。
- e ラベルレスのペットボトル等は使わないようにする。

## 【選択問題 中学校】

第4問 学習指導要領に関する(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、中学校学習指導要領解説 技術・家庭編（平成29年7月）第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 A 家族・家庭生活 (3) 家族・家庭や地域との関わり の一部である。ア  
～ウに該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

※同じ記号には同じ語句が入る。

ア(イ) 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。

ここでは、自分の生活を支える家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや、高齢者のアの特徴を踏まえた関わり方について理解できるようにする。

家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについては、例えば、地域の祭りなどの行事や、清掃、防災訓練等の活動によって、家庭生活が支えられていることや、自分や家族もそれらに関わることで地域を支えていることが分かるようにする。

高齢者など地域の人々と協働する必要があることについては、中学生の自分は支えられるだけでなく、イとして支える側になることができることが分かり、地域でのルールやマナーを守ったり、仕事を分担したりするなど、進んで協働することが必要であることを理解できるようにする。

介護など高齢者との関わり方については、視力や聴力、筋力の低下など中学生とは異なる高齢者のアの特徴が分かり、それらを踏まえて関わる必要があることを理解できるようにする。また、介護については、家庭や地域で高齢者と関わり協働するために必要な学習内容として、ウなどの介助の方法について扱い、理解できるようにする。この学習は、高等学校家庭科における高齢者の介護に関する学習につなげるようにする。

ア	a 心身	b 身体	c 運動機能
	d 五感	e 生活	

イ	a 家族の一員	b 地域の一員	c 家族や地域の一員
	d 社会の構成員	e 次世代を担う世代	

ウ	a 食事	b 着脱衣	c 車椅子による移動
	d 体位変換	e 立ち上がりや歩行	

- (2) 次の文は、中学校学習指導要領解説 技術・家庭編（平成29年7月）第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 C 消費生活・環境 (1) 金銭の管理と購入 の一部である。  ～  に該当する語句を、それぞれ下の a～e から一つ選びなさい。

ア(イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。

ここでは、売買契約の仕組みと関連させ、消費者被害が発生する背景及び被害を回避する方法や適切な対応の仕方について理解できるようにする。また、購入しようとする物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理を適切にできるようにする。

売買契約の仕組みについては、小学校における「買物の仕組み」の学習を踏まえ、契約が法律に則<sup>のつと</sup>ったきまりであり、売買契約が成立するためには買主及び売主の合意が必要であることや、既に成立している契約には法律上の責任が伴うため、消費者の一方的な都合で取り消すことができないことを理解できるようにする。その際、未成年・成年の法律上の責任の違いについても触れるようにする。また、インターネットを介した通信販売は、売買契約であること、クレジットカードによる支払いは、  であることについても理解できるようにする。

<中略>

消費者被害の背景については、消費者被害が消費者と事業者（生産者、販売者等）の間にある  などの格差によって発生することを理解できるようにする。また、インターネットの普及やキャッシュレス化の進行により、目に見えないところで複雑な問題に巻き込まれやすくなることや、被害が拡大しやすいこと、被害者の低年齢化により、中学生も被害者になりやすいことに触れるようにする。

<中略>

さらに、消費者支援の具体例として、地域の消費生活センターなどの各種相談機関やクーリング・オフ制度を取り上げ、消費者を支援する仕組みがあるのは、消費生活に係る被害を未然に防いだり、問題が発生した場合に適切に対応して被害を拡大させないようにしたりするためであることを理解できるようにする。その際、  には、クーリング・オフ制度が適用されないことについても触れるようにする。

<中略>

物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理については、選択のための意思決定に必要な安全性、機能、価格、環境への配慮、アフターサービス等の観点について理解できるようにするとともに、関連する品質表示や成分表示、各種マークについても触れるようにする。また、広告やパンフレットなどの情報源から偏りなく情報を収集し、購入目的に応じた観点で適切に整理し、比較検討できるようにする。その際、情報の  を吟味する必要があることにも触れるようにする。

- |   |         |             |         |
|---|---------|-------------|---------|
| エ | a 安全    | b 二者間契約     | c 三者間契約 |
|   | d 消費者信用 | e キャッシュレス契約 |         |
| オ | a 知識    | b 理解        | c 考え方   |
|   | d 情報量   | e 認識        |         |
| カ | a 店舗販売  | b 小売店       | c 専門店   |
|   | d 訪問販売  | e 通信販売      |         |
| キ | a 判断基準  | b 信頼性       | c 情報源   |
|   | d 意思決定  | e 内容        |         |

## 【選択問題 高等学校】

第4問 学習指導要領に関する(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、高等学校学習指導要領解説 家庭編（平成30年7月）第2章 家庭科の各科目 第2節 家庭総合 2 内容とその取扱い D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 の一部である。□ア□～□オ□に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

※同じ記号には同じ語句が入る。

ホームプロジェクトとは、内容のAからCまでの学習を進める中で、自己の家庭生活の中から課題を見だし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践する問題解決的な学習活動である。ホームプロジェクトを実践することによって、内容のAからCまでの学習で習得した知識と技能を一層定着し、総合化することができ、□ア□と実践的態度を育てることができる。

ホームプロジェクトの指導に当たっては、次の事項に留意する。

- ① 家庭科の授業の一環として、□イ□に位置付けて実施すること。
- ② 家庭科の授業の早い段階において、ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解できるよう、家庭科の知識や技能を活用してホームプロジェクトを実施することを説明し、学習の見通しが立てられるように指導すること。
- ③ 内容のAからCまでの指導に当たっては、中学校の「□ウ□」を踏まえ、より発展的な取組になるように、学習内容を自己の家庭生活と結び付けて考え、常に課題意識をもち、題目を選択できるようにすること。
- ④ 課題の解決に当たっては、まず、目標を明確にして綿密な実施計画を作成できるよう指導すること。次に生徒の主体的な活動を重視し、教師が適切な指導・助言を行うこと。
- ⑤ 学習活動は、計画、実行、反省・評価の流れに基づいて行い、実施過程を記録させること。
- ⑥ 実施後は、反省・評価をして次の課題へとつなげるとともに、成果の発表会を行うこと。

学校家庭クラブ活動とは、ホームルーム単位又は家庭科の講座単位、さらに学校としてまとまって、学校や地域の生活の中から課題を見だし、課題解決を目指して、グループで主体的に計画を立てて実践する問題解決的な学習活動である。学校家庭クラブ活動を実践することによって、内容のAからCまでの学習で習得した知識と技能を、学校生活や地域の生活の場に生かすことができ、□ア□と実践的態度の育成はもとより、ボランティア活動などの□エ□や勤労への意欲を高めることができる。

学校家庭クラブ活動の指導に当たっては、次の事項に留意する。

- ① 家庭科の授業の一環として、□イ□に位置付けるとともに、生徒が計画、立案、参加できるよう工夫すること。

- ② 家庭科の授業の早い段階において、学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解できるよう、これから学習する家庭科の知識や技能を活用して学校家庭クラブ活動を実践することを説明し、学習の見通しが立てられるように指導すること。その際、ホームプロジェクトを発展させ、学校生活や地域の生活を充実向上させる意義を十分理解できるように指導すること。
- ③ ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、総合的な探究の時間など学校全体の教育活動との関連を図るようにすること。
- ④ ボランティア活動については、地域の  などとの連携を図るように工夫すること。

ア	a 問題発見能力	b 課題設定能力	c 問題解決能力
	d 課題解決能力	e 課題改善能力	
イ	a 教育課程	b 年間行事計画	c 年間指導計画
	d 学習指導案	e 学習課題	
ウ	a A家族・家庭生活	b B衣食住の生活	c C消費生活・環境
	d 生活の課題と実践	e 技術・家庭（家庭分野）	
エ	a 地域交流	b 地域参加	c 社会交流
	d 社会参画	e 学校外活動	
オ	a 社会福祉協議会	b 地域福祉施設	c 民間団体
	d 行政機関	e ボランティア団体	

- (2) 次の文は、高等学校学習指導要領解説 家庭編（平成30年7月）第2章 家庭科の各科目のうち 2 内容とその取扱いについて の一部を示している。「家庭基礎」の内容とその取扱いとして、適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

カ	
a	子供を生き育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。
b	主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察し、工夫すること。
c	住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫すること。
d	生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできること。

## 【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

合理的配慮は、「障害者の権利に関する条約」第2条の定義において提唱された概念であり、その定義に照らし、我が国の学校教育においては、中央教育審議会初等中等教育分科会報告において、合理的配慮とは、「障害のある子どもが、他の子どもと  に『教育を受ける権利』を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に  に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の  を課さないもの」と定義されている。なお、障害者の権利に関する条約において、合理的配慮の否定は、障害を理由とする  に含まれるとされていることに留意する必要がある。

a 平等      b 均等      c 対等      d 同等

a 習熟度別      b 学年別      c 課題別      d 個別

a 対応      b 負担      c 義務      d 責任

a 差別      b 区別      c 分離      d 偏見



- 2 次の表は、令和3年10月に文部科学省より示された「特別支援教育資料（令和2年度）」の「第1部 データ編」の表の一部である。表中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

出典：「学校基本調査」（文部科学省）  
※中等教育学校の特別支援学級はなし。

- a 病弱・身体虚弱      b 自閉症・情緒障害      c 知的障害      d 言語障害

- 3 文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」にある平成30年4月1日より施行された「通級による指導」に関する内容に該当するものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 知的障害者を対象とする通級による指導の制度化  
b 情緒障害者を対象とする通級による指導の制度化  
c 幼稚園における通級による指導の制度化  
d 高等学校における通級による指導の制度化

4 平成29年4月告示の「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第7章 自立活動」に記載されている自立活動の内容について、次の(1)～(6)の区分に該当する項目を、それぞれ下のa～cから一つ選びなさい。

(1) 健康の保持	<input type="text" value="ク"/>	(2) 心理的な安定	<input type="text" value="ケ"/>
(3) 人間関係の形成	<input type="text" value="コ"/>	(4) 環境の把握	<input type="text" value="サ"/>
(5) 身体の動き	<input type="text" value="シ"/>	(6) コミュニケーション	<input type="text" value="ス"/>

- a 身体各部の状態の理解と養護に関すること。  
 b 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。  
 c 日常生活に必要な基本動作に関すること。

- a 状況の理解と変化への対応に関すること。  
 b 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。  
 c 自己の理解と行動の調整に関すること。

- a 情緒の安定に関すること。  
 b 他者の意図や感情の理解に関すること。  
 c コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

- a 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。  
 b 身体の移動能力に関すること。  
 c 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。

- a 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。  
 b 保有する感覚の活用に関すること。  
 c 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。

- a 集団への参加の基礎に関すること。  
 b 言語の形成と活用に関すること。  
 c 健康状態の維持・改善に関すること。

